

令和元年10月8日
環境清掃部環境保全課

羽田空港の機能強化の決定について

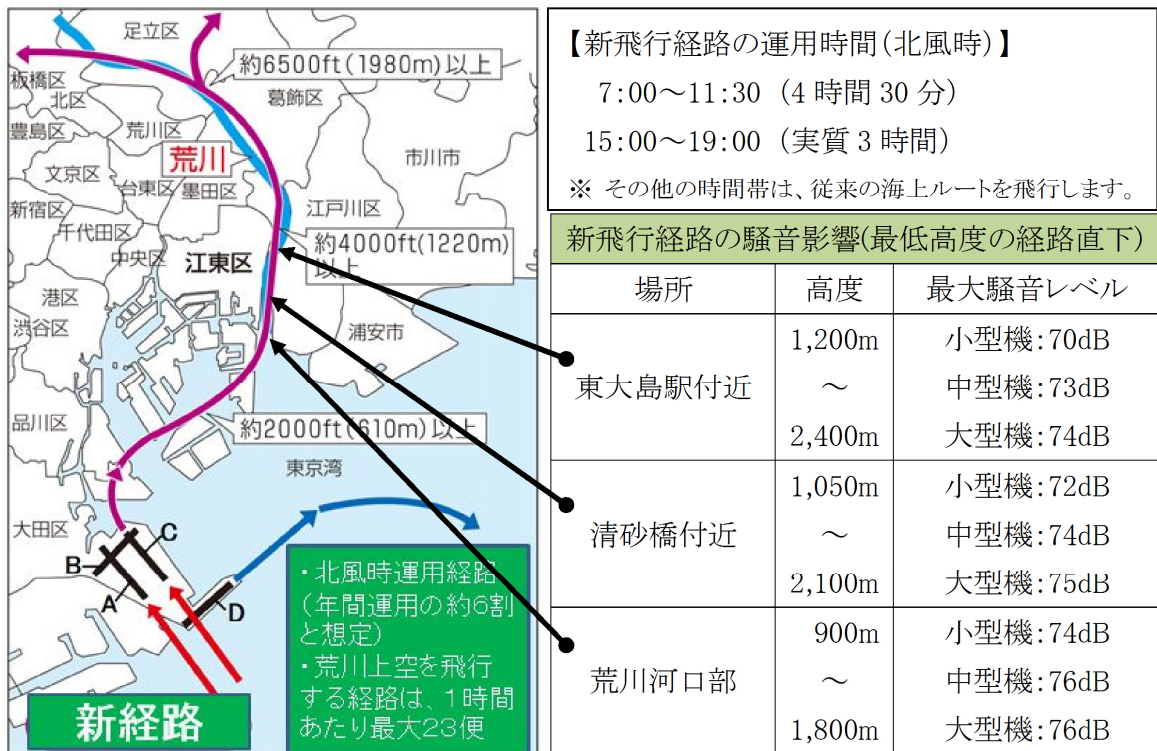
1 機能強化の決定について

国は、本年8月8日に、首都圏の国際競争力強化や訪日外国人旅行者の受け入れ等のため、令和2年3月29日より羽田空港の新飛行経路の運用を開始し国際線を増便する決定を行った。

2 効果

- ア 国際線の年間発着回数：3.9万回増（6万回⇒9.9万回）
- イ 羽田空港の年間利用者数：705万人増
- ウ 経済波及効果：6,503億円
- エ 税金：年間532億円増
- オ 雇用効果：4.7万人

3 新飛行経路及び騒音影響について（北風時）



4 国の対策（追加対策を含む。）

(1) 住民説明、情報提供

ア 5期にわたるオープンハウス型の住民説明会の実施

イ 相談窓口の充実、適時適切な広報

(2) 騒音対策

ア 国際線着陸料体系の見直し

低騒音機導入促進のため、航空機の重量に騒音の要素を組み合わせた

イ 騒音測定局の増設及び測定結果の情報提供

ウ 到着経路の降下角の引き上げ及び長距離国際線の制限（南風時）

(3) 安全対策（落下物対策総合パッケージ）

ア 落下物防止対策基準の策定及び航空会社へ義務化

イ 駐機中の機体チェックの強化

ウ 事故発生時の保障等の充実

エ 落下物対策に関する情報提供の充実

(4) その他

ア 防音工事の助成制度拡充（運用の弾力化）

イ 運航開始後の自治体との情報共有や意見交換の場の設定

5 地域説明会の開催について

(1) 日時

令和元年6月19日（水）19時から20時45分まで

(2) 場所

江東区東大島文化センター

(3) 参加者数

82名

(4) 説明内容

羽田空港機能強化の必要性、本区に関係する新飛行経路の内容、騒音対策、落下物対策等を中心に国の担当者が説明した。

(5) 質疑応答

機能強化の目的、試験飛行、落下物対策等について質疑応答が行われた。